様式２

2025（令和7） 年　　4 月　　1 日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	VSサポート
住　所	石川県金沢市彦三町2丁目1番10号　真和ビル1階
電話番号	076-221-1233

事業所番号	1710103837
管理者名	澤田　理絵
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所：株式会社大和工業エンジニアリング内にある いちご等水耕栽培作業室

実施日程：令和6年5月8日（水）

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：

いちご等水耕栽培作業の見学と体験

利用者数　等：利用者2名、職員1名

＜目的＞

これまで当事業所は農業に取り組んでこなかった。しかし、農福連携が推進されていることから利用者の就労の場や機会を増やすことを目的に初めて取り組むことにした。

＜成果＞

見学と体験を通して、職員・利用者共に農作業の難しさ等を知ることができた。

課題として、作業工程全てに慎重さや丁寧さが求められる。また工程も多く、作業を習得するには時間を要する。

＜活動の様子＞

全身をエアーシャワーしてから作業開始

室内で水耕栽培されている いちご苗の棚

葉を1枚ずつチェックしてゴミ等を取り除く

おしべの花粉の状態を綿棒で確認する。

花粉をめしべに受粉する。

根元まで赤くなったいちごを収穫する。

収穫したいちご

いちご生育のために年中空調管理された室内で作業を行う。いちごに傷をつけないように一つ一つの作業に慎重さや丁寧さが求められる繊細な作業である。

連携先の企業や事業所等の意見または評価

今回の見学や体験を通して、障害のある人も農作業に取り組むことができると確信しました。参加者の一人は、家でも農作業の手伝いをしているとのことで、手際も良かった。当社の受け入れ態勢を整えて、継続して働いてもらいたい。

連携先企業（担当者）	株式会社大和工業エンジニアリング　　木村　様

利用者からの意見・評価

利用者A（男性）

思っていた以上に体力仕事だった。低い姿勢で作業した後に、立ち上がると立ち眩みがして大変だった。作業は一つ一つ気を遣ったが、立派ないちごを収穫できて嬉しかった。室内作業は良い。

利用者B（男性）

家の手伝いでやっていたので、何となくやることはわかった。でも、これがいいのか悪いのか判断に困った。それがどういう理由で良いのか悪いのかわかると納得して仕事に取り組めると思った。でもうまく質問できなかった。